

主催：栃木市・栃木市社会福祉協議会

市民のための

認知症講演会

同居する母親が、2015年にアルツハイマー型認知症と診断され、以来娘として生活の中で表れる認知症の症状と向き合ってきた。一方で母親を脳科学者として客観的に分析することで、医者/患者、科学者/被験者という立場で研究するのとは違った認知症の理解を持つにいたり、情報を発信している。



脳科学者

東京大学大学院

特任研究員

恩蔵 絢子 氏

～認知症になっても 失われないもの～

日時：令和8年 **3月27日（金）**

場所：栃木市岩舟文化会館（コスモスホール）
（栃木市岩舟町静2303）

時間：午後2時30分～4時00分
（開場 午後2時～）

**参加費
無料**

どなたでもご参加いただけます！

申し込みは不要です。

脳科学者の母が
認知症になる